

2025 年 12 月 16 日

各 位

株式会社三井住友銀行

エクシオグループ株式会社への「サステナビリティ・リンク・ローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、エクシオグループ株式会社（代表取締役社長：梶村 啓吾/以下、「エクシオグループ」）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

エクシオグループは 1954 年設立の大手通信工事会社です。同社は、「技術力を培う 豊かさを求める 社会に貢献する」という企業理念のもと、2021 年 5 月に公表した「2030 ビジョン」において「ESG 経営の実践」を挑戦の一つとして掲げ、中期経営計画（2021-2025）においても環境・社会・ガバナンスのそれぞれについて KPI を設定し、計画的・継続的に取り組みを進めています。GHG 排出量の削減をはじめとする環境に配慮した経営の実践とともに、再生可能エネルギー事業などを通じて気候変動に関連する社会課題の解決に貢献できるよう積極的に取り組む方針を掲げています。

またエクシオグループは、2022 年 11 月に「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を策定（2024 年 8 月に改定）しています。本フレームワークでは、中期経営計画（2021-2025）で掲げられた取組課題に基づき、GHG 排出量の削減が KPI 及び SPTs として採り入れられています。本ローンでは、本フレームワークに基づく SPTs を定め、達成への動機付けとして、SPTs 未達成時に、エクシオグループが脱炭素社会の実現に資する活動を実施している組織に対して寄付を行うという貸出条件が設定されています。

尚、本フレームワークは、国際金融業界団体の、ICMA (International Capital Market Association) にて策定された「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」、LMA (Loan Market Association)、LSTA (Loan Syndications and Trading Association) 及び APLMA (Asia Pacific Loan Market Association) にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、環境省にて策定された「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン」、「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」において求められる項目について基準を満たしているとの第三者意見を、株式会社日本格付研究所（JCR）より取得しています。

株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成に一層貢献してまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2025 年 12 月 12 日
実行日	2025 年 12 月 16 日
貸付人	株式会社三井住友銀行
SPTs	GHG 排出量 (Scope1+2) を 2027 年度に 2020 年度比 30.73%削減

(参考)

エクシオグループ株式会社ホームページ：
<https://www.exeo.co.jp/>をご参照ください。

株式会社日本格付研究所 (JCR) による第三者意見：
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
法人戦略部サステナブルソリューション室
TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。